

宇和島市の高血圧対策

R5 年度実施：乳幼児を持つ保護者に対する高血圧意識調査

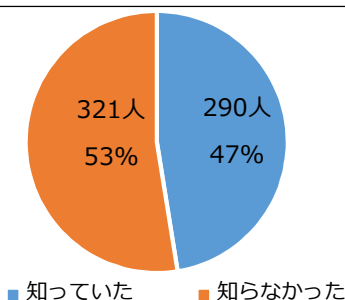
当市のこれまでの特定健診の結果の分析により、市の課題は『高血圧』であることが分かりました。高血圧は子どもの頃からの食習慣との関係が強く影響するため、小児期からの味覚形成が重要であり、早期から食習慣を家族で気を付けていく必要があります。そのため、まずは保護者の方の高血圧に関する調査を実施しました。

【対象者】 市内 28 箇所の幼稚園・保育園・認定こども園在園児の保護者及び児童館利用者 1654 人（内回答数 617 人）

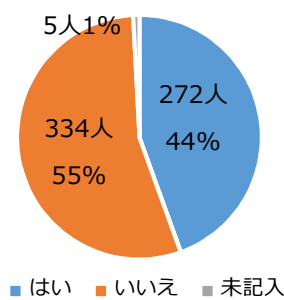
- ・若い頃から自分の血圧を測る習慣をつけるよう周知することが必要。
 - ・保護者の塩分量は、子どもの塩分量に影響するため、注意が必要。
 - ・1日の塩分摂取目標量について、正確な量を周知することが必要。
- ということがわかりました。

【結果】

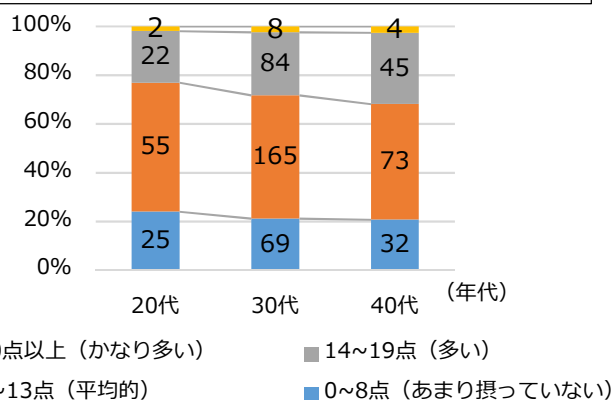
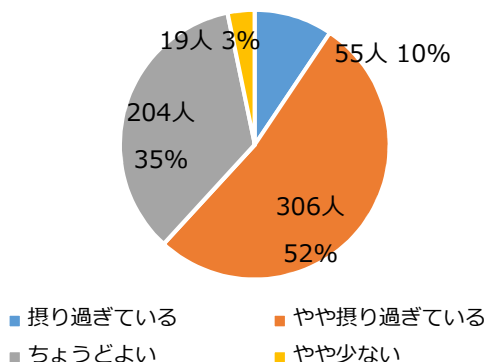
宇和島市が全国的に高血圧の人が多い地域であることを知っている人の割合は 47%でした。



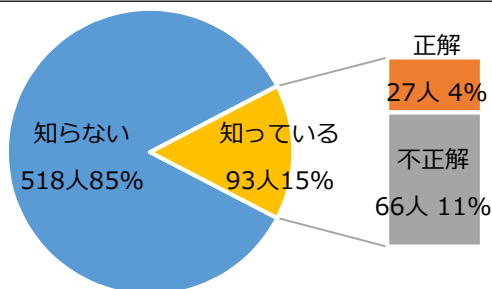
『自分の血圧を知っている人』の割合は 44%でした。



『塩分を摂り過ぎていると思う人』の割合は 62%でした。年代別では、年代が高くなるにつれ、塩分を摂っている人の割合が高いようです。



『1日の摂取目標量について知っている人』の割合は 15%。しかし、そのうち正確な塩分摂取目標量を知っている人の割合は 4%でした。



1日の塩分摂取目標量は女性 6.5g 男性 7.5g です。